



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 中外鉱業株式会社

上場取引所

東

コード番号 1491 URL <http://www.chugaiogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 西元 丈夫

問合せ先責任者 (役職名) IR センター室長

(氏名) 桜庭 勲

TEL 03-3201-1541

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日

配当支払開始予定日

2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	84,822	64.4	794	35.5	648	27.3	398	△27.1
2022年3月期	51,590	30.8	586	114.7	509	125.2	546	212.0

(注) 包括利益 2023年3月期 398百万円 (△27.1%) 2022年3月期 546百万円 (212.0%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	1.38	—	5.6	6.3	0.9
2022年3月期	1.89	—	8.0	5.6	1.1

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 ー百万円 2022年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	10,757	7,177	66.7	24.90
2022年3月期	9,833	7,067	71.9	24.52

(参考) 自己資本 2023年3月期 7,177百万円 2022年3月期 7,067百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△1,121	△164	608	3,418
2022年3月期	356	△198	△19	4,095

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00	288	52.7	4.1
2023年3月期	—	0.00	—	0.50	0.50	144	36.2	2.0
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)2023年3月期における1株あたり期末配当金については、本日公表いたしました「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。また、2024年3月期の配当につきましては、現時点では未定としております。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	41,800	△2.7	310	△16.4	280	△17.2	270	101.5	0.94
通期	84,500	△0.4	630	△20.7	490	△24.4	470	18.1	1.63

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2023年3月期	289,747,982 株	2022年3月期	289,747,982 株
2023年3月期	1,533,966 株	2022年3月期	1,532,428 株
2023年3月期	288,214,877 株	2022年3月期	288,693,750 株

(参考)個別業績の概要

2023年3月期の個別業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	83,831	65.6	769	38.8	647	27.4	398	△27.2
2022年3月期	50,608	30.9	554	73.1	508	122.8	547	209.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	1.38	—
2022年3月期	1.90	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	10,758	7,178	66.7	24.91
2022年3月期	9,829	7,068	71.9	24.52

(参考) 自己資本 2023年3月期 7,178百万円 2022年3月期 7,068百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等もあり、社会・経済活動の正常化に向けた動きが見られたものの、ウクライナ情勢の長期化による資源・原材料価格の高騰や世界的な金融引締めによる景気減退、円安を背景とした物価上昇等、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)は、貴金属市況において、金価格は、米国利上げの動向や新型コロナウイルス感染症、地政学リスク等の影響から高値圏を維持しており、総じて上昇基調で推移いたしました。業績については金・白金族の集荷量が当初見込みを上回ったことや宝飾品の販売が好調であったことから堅調に推移いたしました。不動産市況においては、住宅ローン減税や低金利の継続等、住宅購買環境は良好であるものの、地価高止まりや建築資材の高騰等、事業環境は厳しい状況の下推移いたしました。こうした中、都内収益物件の販売を行ったものの業績は低調に推移いたしました。機械市況においては、工作機械の需要は2022年半ば以降緩やかな減少傾向がみられたものの電気自動車や半導体関連の受注等が底堅く推移し内外需ともに総じて回復基調であったことから業績は改善傾向で推移いたしました。コンテンツ事業においては、人気タイトルのグッズ販売が好調であったことから業績は堅調に推移いたしました。

この結果、当連結会計年度の売上高は84,822,504千円(前年同期51,590,216千円 64.4%増)、営業損益794,882千円の利益(前年同期は586,700千円の利益)、経常損益は648,752千円の利益(前年同期は509,019千円の利益)、親会社株主に帰属する当期純損益は398,347千円の利益(前年同期は546,852千円の利益)となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

貴金属事業におきましては、売上高は80,280,319千円(前年同期47,176,909千円)、営業損益は901,447千円の利益(前年同期561,584千円の利益)となりました。

不動産事業におきましては、売上高は381,956千円(前年同期601,560千円)、営業損益は1,676千円の損失(前年同期28,310千円の利益)となりました。

機械事業におきましては、売上高は1,006,966千円(前年同期997,786千円)、営業損益は31,746千円の利益(前年同期37,921千円の利益)となりました。

コンテンツ事業におきましては、売上高は3,098,092千円(前年同期2,767,186千円)、営業損益は357,997千円の利益(前年同期367,309千円の利益)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は、前連結会計年度末より999,226千円増加し、8,330,717千円となりました。

増加の主なものは、売掛金の増加(210,671千円から714,021千円へ503,349千円の増加)、商品及び製品の増加(1,808,813千円から2,374,677千円へ565,864千円の増加)及び販売用不動産の増加(387,151千円の増加)であります。

減少の主なものは、現金及び預金の減少(4,095,519千円から3,418,230千円へ677,289千円の減少)であります。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は、前連結会計年度末より75,336千円減少し、2,426,545千円となりました。

増加の主なものは、繰延税金資産の増加(98,100千円から159,721千円へ61,621千円の増加)であります。

減少の主なものは、建物及び構築物の減少(458,851千円から265,488千円へ193,362千円の減少)であります。

(流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は、前連結会計年度末より779,574千円増加し、3,202,583千円となりました。

増加の主なものは、短期借入金の増加(700,000千円から1,545,550千円へ845,550千円の増加)であります。

減少の主なものは、買掛金の減少(349,046千円から226,981千円へ122,065千円の減少)であります。

(固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は、前連結会計年度末より34,230千円増加し、377,365千円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末より110,084千円増加し、7,177,314千円となりました。

増加の主なものは、資本剰余金の増加(6,148,926千円の増加)及び利益剰余金の増加(899,692千円から1,009,824千円へ110,131千円の増加)であります。

減少の主なものは、資本金の減少（6,248,926千円から100,000千円へ6,148,926千円の減少）であります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ677,289千円減少し、3,418,230千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は1,121,596千円（前連結会計年度は356,589千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益350,090千円及び減損損失198,402千円等による資金の獲得があったものの、棚卸資産の増加額1,091,416千円及び売上債権の増加額503,349千円等による資金の使用があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は164,073千円（前連結会計年度は198,826千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出85,072千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は608,380千円（前連結会計年度は19,268千円の使用）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出295,736千円及び配当金の支払額283,899千円があったものの、短期借入れによる収入874,500千円及び長期借入れによる収入336,000千円等があったことによるものであります。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	82.4	79.4	71.9	66.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	56.0	112.1	99.7	85.7

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

（注1）各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更により社会活動の正常化やインバウンド需要の回復等による兆しがみられるものの、ウクライナ情勢の長期化による資源・原材料価格の高騰や世界的な金融引き締めによる為替変動リスク、インフレによる消費マインドの停滞等、景気の先行きは依然として不透明な状況が継続することが予想されます。

こうした状況の下、当社グループにおいては、引き続き貴金属需要が見込まれると想定しているものの、資源・エネルギー価格高騰や金融市場の動向等、当社業績に与える影響は先行き不透明な状況が続くと予想されます。

2024年3月期の連結業績予想については、売上高84,500,000千円、営業利益630,000千円、経常利益490,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益470,000千円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は、海外での活動が限定されているため、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移および国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,095,519	3,418,230
売掛金	210,671	714,021
商品及び製品	1,808,813	2,374,677
仕掛品	479,572	559,657
原材料及び貯蔵品	632,262	690,460
販売用不動産	—	387,151
仕掛不動産	54,099	54,217
預け金	194	194
その他	90,426	172,175
貸倒引当金	△40,068	△40,068
流動資産合計	7,331,491	8,330,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,165,708	1,007,439
減価償却累計額	△706,857	△741,951
建物及び構築物 (純額)	458,851	265,488
機械装置及び運搬具	526,661	552,302
減価償却累計額	△477,556	△489,859
機械装置及び運搬具 (純額)	49,104	62,442
土地	1,472,391	1,472,391
その他	149,284	156,911
減価償却累計額	△118,502	△125,443
その他 (純額)	30,781	31,467
建設仮勘定	24,500	19,739
有形固定資産合計	2,035,628	1,851,529
無形固定資産		
コンテンツ資産	—	7,200
その他	18,586	16,466
無形固定資産合計	18,586	23,666
投資その他の資産		
投資有価証券	100,071	110,071
出資金	120,585	120,615
敷金及び保証金	123,846	155,878
繰延税金資産	98,100	159,721
その他	5,063	5,063
投資その他の資産合計	447,666	551,349
固定資産合計	2,501,881	2,426,545
資産合計	9,833,373	10,757,263

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	349,046	226,981
短期借入金	700,000	1,545,550
関係会社短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	64,286	69,746
未払金	30,069	28,502
未払法人税等	27,133	7,298
前受金	1,089,731	1,031,219
契約負債	2,986	1,327
その他	109,754	141,958
解体費用引当金	—	100,000
流動負債合計	2,423,008	3,202,583
固定負債		
長期借入金	106,129	152,383
金属鋳業等鋳害防止引当金	3,953	3,953
預り敷金保証金	9,495	2,409
資産除去債務	207,455	207,455
その他	16,102	11,165
固定負債合計	343,134	377,365
負債合計	2,766,143	3,579,948
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,248,926	100,000
資本剰余金	—	6,148,926
利益剰余金	899,692	1,009,824
自己株式	△81,389	△81,436
株主資本合計	7,067,230	7,177,314
純資産合計	7,067,230	7,177,314
負債純資産合計	9,833,373	10,757,263

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	51,590,216	84,822,504
売上原価	49,229,006	81,671,652
売上総利益	2,361,210	3,150,852
販売費及び一般管理費	1,774,509	2,355,969
営業利益	586,700	794,882
営業外収益		
受取利息及び配当金	563	24
国庫補助金収入	8,947	8,703
保険金収入	343	2,150
その他	3,585	3,669
営業外収益合計	13,440	14,548
営業外費用		
支払利息	7,566	11,419
休山管理費	73,630	143,290
その他	9,923	5,967
営業外費用合計	91,121	160,678
経常利益	509,019	648,752
特別利益		
固定資産売却益	593	444
特別利益合計	593	444
特別損失		
解体費用引当金繰入額	—	100,000
固定資産除却損	4,519	47
固定資産売却損	—	656
減損損失	38,810	198,402
特別損失合計	43,330	299,107
税金等調整前当期純利益	466,282	350,090
法人税、住民税及び事業税	28,151	13,364
法人税等調整額	△108,720	△61,621
法人税等合計	△80,569	△48,256
当期純利益	546,852	398,347
親会社株主に帰属する当期純利益	546,852	398,347

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	546,852	398,347
包括利益	546,852	398,347
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	546,852	398,347
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	為替換算調整 勘定	その他の 包括利益累 計額合計	
当期首残高	6,248,926	—	350,752	△31,344	6,568,334	△65	△65	6,568,268
会計方針の変更による累積的影響額			314		314			314
会計方針の変更を反映した当期首残高	6,248,926	—	351,067	△31,344	6,568,649	△65	△65	6,568,583
当期変動額								
剰余金の配当					—			—
親会社株主に帰属する当期純利益			546,852		546,852			546,852
資本金から資本剰余金への振替					—			—
自己株式の取得				△50,045	△50,045			△50,045
連結範囲の変動			1,773		1,773	65	65	1,839
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—			—
当期変動額合計	—	—	548,625	△50,045	498,580	65	65	498,646
当期末残高	6,248,926	—	899,692	△81,389	7,067,230	—	—	7,067,230

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益 累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	為替換算調整 勘定	その他の 包括利益累 計額合計	
当期首残高	6,248,926	—	899,692	△81,389	7,067,230	—	—	7,067,230
当期変動額								
剰余金の配当			△288,215		△288,215			△288,215
親会社株主に帰属する当期純利益			398,347		398,347			398,347
資本金から資本剰余金への振替	△6,148,926	6,148,926			—			—
自己株式の取得				△46	△46			△46
連結範囲の変動					—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—			—
当期変動額合計	△6,148,926	6,148,926	110,131	△46	110,084	—	—	110,084
当期末残高	100,000	6,148,926	1,009,824	△81,436	7,177,314	—	—	7,177,314

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	466,282	350,090
減価償却費	85,213	101,197
契約負債の増減額 (△は減少)	△298	△1,659
解体費用引当金の増減額	—	100,000
受取利息及び受取配当金	△563	△24
支払利息	7,566	11,419
国庫補助金収入	△8,947	△8,703
保険金収入	△343	△2,150
有形固定資産売却損益 (△は益)	△593	212
有形固定資産除却損	4,519	47
減損損失	38,810	198,402
売上債権の増減額 (△は増加)	207,758	△503,349
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,482,364	△1,091,416
仕入債務の増減額 (△は減少)	158,358	△122,065
未払金の増減額 (△は減少)	△3,544	△1,567
前受金の増減額 (△は減少)	995,398	△58,512
その他	△57,674	△89,507
小計	409,578	△1,117,587
利息及び配当金の受取額	563	24
利息の支払額	△7,565	△11,418
国庫補助金の受取額	8,947	8,703
保険金の受取額	343	2,150
法人税等の支払額	△55,277	△3,469
営業活動によるキャッシュ・フロー	356,589	△1,121,596
投資活動によるキャッシュ・フロー		
出資金の払込による支出	△110,980	△30
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
有形固定資産の取得による支出	△68,465	△85,072
有形固定資産の売却による収入	600	684
有形固定資産の除却による支出	△3,146	—
無形固定資産の取得による支出	△8,634	△36,395
敷金保証金の増加による支出	△9,809	△34,456
敷金保証金の減少による収入	1,609	1,196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△198,826	△164,073

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	874,500
短期借入金の返済による支出	—	△17,500
長期借入れによる収入	400,000	336,000
長期借入金の返済による支出	△464,286	△295,736
リース債務の返済による支出	△4,937	△4,937
自己株式の取得による支出	△50,045	△46
配当金の支払額	—	△283,899
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,268	608,380
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	138,494	△677,289
現金及び現金同等物の期首残高	3,958,425	4,095,519
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,400	—
現金及び現金同等物の期末残高	4,095,519	3,418,230

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(株主資本の金額の著しい変動)

2022年6月29日開催の第130回定時株主総会決議により、2022年8月15日付で資本金を減少させ、その全額をその他資本剰余金へ振り替えております。この結果、資本金が6,148,926,581円減少し、第2四半期連結会計期間末において資本金が100,000,000円、その他資本剰余金が6,148,926,581円となっております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の種類・サービス別のセグメントから構成されており、「貴金属事業」、「不動産事業」、「機械事業」、「コンテンツ事業」の4つを報告セグメントとしております。

「貴金属事業」は、貴金属・美術品・ダイヤモンド・宝飾品の販売、金・銀・白金・パラジウム地金の生産販売、含金銀非鉄金属の仕入販売等を行っております。「不動産事業」は、分譲・賃貸マンションの販売、不動産の売買、仲介、賃貸及び保守管理並びに企画開発等を行っております。「機械事業」は、中古工作機械・鋳金機械等の仕入販売を行っております。「コンテンツ事業」は、アニメ、コミック、ゲーム等のキャラクター関連商品の企画・製作・販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。報告セグメントの損益は、営業損益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	コンテンツ事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	47,176,909	586,830	996,833	2,767,186	51,527,760	62,455
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14,730	952	—	15,682	—
計	47,176,909	601,560	997,786	2,767,186	51,543,443	62,455
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	561,584	28,310	37,921	367,309	995,126	△19,998
セグメント資産	3,721,589	1,496,065	1,084,392	1,434,301	7,736,349	76,660
その他の項目						
減価償却費	18,262	24,951	10,264	13,827	67,305	10,724
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	47,439	2,517	8,284	18,040	76,281	—

	合計
売上高	
(1) 外部顧客への売上高	51,590,216
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	15,682
計	51,605,899
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	975,128
セグメント資産	7,813,010
その他の項目	
減価償却費	78,029
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	76,281

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他
	貴金属事業	不動産事業	機械事業	コンテンツ事業	計	
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	80,280,319	367,226	1,006,196	3,098,092	84,751,834	70,670
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	14,730	770	—	15,500	—
計	80,280,319	381,956	1,006,966	3,098,092	84,767,334	70,670
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	901,447	△1,676	31,746	357,997	1,289,515	△16,223
セグメント資産	4,331,150	1,642,040	1,076,023	1,771,942	8,821,157	81,176
その他の項目						
減価償却費	23,055	13,094	13,337	31,054	80,541	14,948
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	37,296	—	15,275	36,845	89,417	—

	合計
売上高	
(1) 外部顧客への売上高	84,822,504
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	15,500
計	84,838,004
セグメント利益又はセグメント損失 (△)	1,273,292
セグメント資産	8,902,334
その他の項目	
減価償却費	95,489
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	89,417

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	51,543,443	84,767,334
「その他」の区分の売上高※	62,455	70,670
セグメント間取引消去	△15,682	△15,500
連結財務諸表の売上高	51,590,216	84,822,504

※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、投資事業、太陽光発電による売電収入、不動産賃貸収入及びインターネットカフェ事業を含んでおります。

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	995,126	1,289,515
「その他」の区分の利益	△19,998	△16,223
全社費用※	△388,428	△478,409
連結財務諸表の営業利益	586,700	794,882

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業損益と調整を行っております。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	7,736,349	8,821,157
「その他」の区分の資産	76,660	81,176
全社資産※	2,020,363	1,854,929
連結財務諸表の資産合計	9,833,373	10,757,263

※全社資産は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	67,305	80,541	10,724	14,948	7,183	5,708	85,213	101,197
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	76,281	89,417	—	—	1,143	32,050	77,425	121,467

※減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	貴金属事業	不動産事業	機械事業	コンテンツ事業	その他	全社資産	合計
減損損失	—	—	—	—	38,810	—	38,810

※全社資産は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	貴金属事業	不動産事業	機械事業	コンテンツ事業	その他	全社資産	合計
減損損失	—	196,549	—	1,747	—	105	198,402

※全社資産は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	24.52円	24.90円
1株当たり当期純利益金額	1.89円	1.38円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	546,852	398,347
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	546,852	398,347
期中平均株式数 (千株)	288,693	288,214

(重要な後発事象)

該当事項はありません。